

# 衆院補選と統一地方選挙 後半戦の結果について

## 2019年4月22日 日本共産党中央委員会常任幹部会

### (1)

21日、衆議院沖繩3区・大阪12区補欠選挙、統一地方選挙の後半戦が開票されました。

沖繩3区補選は、辺野古新基地建設の是非が最大争点となり、「オール沖縄」の屋良朝博候補が圧勝しました。自民党候補は、この間の選挙では初めて「辺野古推進」を公然と掲げて敗北しました。これは自民党にとってあれこれの言い訳のきかない結果であり、「新基地」のトドメの審判となりました。わが党は、安倍政権に対し、この結果を真剣に受け止め、辺野古新基地建設をただちに中止し、普天間基地の無条件撤去を求めて米国と交渉することを強く求めます。

大阪12区では、宮本岳志前衆議院議員が無所属で立候補し、市民と野党の統一候補として奮闘しました。宮本岳志候補が及ばなかったのは残念ですが、このたたいは市民と野党の共闘の今後の発展にとって大きな財産をつくりました。自由党、立憲民主党、国民民主党の代表をはじめ、6野党・会派から49人も国会議員や元議員が応援に入り、大阪と全国から1千人を越えるボランティアのみならず、超えるボランティアのみならず、

### (2)

こうした結果のなかでも、京都の市議選などで議席増を勝ちとったところやうまれ、九つの県では候補の全員当選を果たすことができました。

### 統一地方選挙の結果について

二〇一九年四月二十三日

日本共産党岐阜県常任委員会

四月七日投票の県議選では二つの選挙区でたかひ、複数議席獲得をめざしました。前回との比較では、岐阜市区では得票数は減りましたが率ではほぼ横ばいとなり、連続トップ当選を果たしました。大垣市区、中津川市区ではともに議席獲得にはなりませんでしたが、得票数・率とも大幅に前進しました。

四月二十一日投票の市町議選では、十五市町

た。日本共産党に支持をお寄せいただいた有権者のみなさん、日本共産党候補の当選のために日夜奮闘していただいた党員、後援会員、支持者、JCPサポーターのみなさんに心からの感謝を申し上げます。私たちは、非改選とあわせ約2700人の地方議員とともに、選挙で訴えた公約の実現に力をつくす決意です。

党の議席を後退させたことはいかに残念ですが、前半戦とあわせて統一地方選挙全体の結果から、何を確信にして参議院選挙のたたかいにのぞむのか。次の二つのことが重要だと考えます。

第一に、安倍政治への審判、地方政治の転換を掲げ、「自公対共産党」の対決構図を鮮明にする攻勢的な論戦を行ったことです。この選挙中、政府・与党からも消費税増税への動揺が生まれるなど、わが党の論戦は安倍政権を追い詰める大きな力を発揮しました。国民健康保険料（税）の連続大幅値上げを告

### (3)

発し、公費投入による値下げの展望を訴えたことは、有権者から熱い期待を集めました。住民の暮らしをめぐる身近な要求をとりあげ、地方議員のかけがえのない打ちや実績を押し出したことにも大きな共感が寄せられました。憲法9条改定に反対し、9条を生かした日本をめざす論戦は、いよいよ重要で、この論戦をさらに発展させていくにはありませんか。

第二に、後半戦でも、17年の総選挙の比例代表の得票率と比較では前進をつくりだしたことです。わが党は、今回の統一地方選挙を、17年10月の総選挙で獲得した440万票をベースにして850万票の目標に向けてこれだけ伸ばせるか（1月の全国都道府県・地区委員長会議の報告）を尺度としてたかかってきました。17年総選挙の比例得票率と今回の選挙で得た得票率を比較すると、東京区議選では10・2%から12・0%へ、統一地方選挙では7・8%から11・4%へ、町村議選では7%から8・4%へ、町村議選では7・5%から8・3%へ伸びました。これは疑いありません。

参議院選挙の公示まで2カ月あまり。参院選での躍進をめざし、勝利に必要な宣伝・組織活動にたちにとりくみながら、そのなかで強く大きな党をつくる仕事を特別に重視することを心から訴えます。

参院選の公示までに、すべての支部が1人以上の新しい党員を増やし、新鮮な活力を党に迎え入れて、歴史的な選挙戦をたたかうことを訴えます。

「しんぶん赤旗」読者の、日刊紙でも、日曜版でも、この4月から前進をつくりだし、5月、6月、7月と未だに発展させ、読者の面でも党勢の上げ潮のなかで参議院選挙をたたかきましょう。

選挙で協力いただいた支持者のみなさんにお礼を述べるとともに、入党と「赤旗」購読をよびかけましょう。

強く大きな党をつくるために精魂を傾けつつ、選挙勝利のための諸課題をやりぬき、参議院選挙での躍進を必ず勝ち取るようではありませんか。

### (二補選含む)で二十二人の候補をたてたたい、十四

市町で二十人が当選、改選比で四人増の前進となりました。

美濃市、揖斐川町（無投票当選）で議席空白を克服し、中津川市では二議席に前進、議案提案権を獲得しました。岐阜市では全員当選をめざしましたが、交渉会派となる三議席にとどまりました。中津川市と神戸町、関ヶ原町は、前回より得票数・率とも、大垣市と羽島市は得票率で前進しました。二〇一七年衆院選比例票との比較では、高山市、神戸町、関ヶ原町、養老町では得票数・率とも、羽島市は得票率で前進しました。

昼夜を分かたず奮闘された党員、後援会員、支援者のみなさん、本当にお疲れ様でした。

以上



# 2019年4月21日市・町議会議員選挙 日本共産党候補の結果

※前回との比較で、候補者や地域割の変更などで、一概に比較できない候補者もありますのでご了承ください。

NO	選挙区	定数	候補者名	現元新	今回結果								2017年衆院選比例		2016年参院選比例	
					当落	順位	今回		前回		増減		得票数	増減	得票数	増減
							得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率				
1	岐阜市	38	堀田信夫	現	●	26	2,615		3,217		-602					
			井深正美	現	●	31	2,307		2,694		-387					
			森下満寿美	元	●	22	2,736		4,935		-2,199					
			山越徹	新	●	44	1,567		1,865		-298					
			岐阜市計				9,225	7.32	12,711	9.59	-3,486	-2.27	12,717	-3,492	18,903	-9,678
2	羽島市	18	花村隆	現	●	3	1,527	6.45	1,716	6.23	-189	0.22	1,647	-120	2,422	-895
3	大垣市	22	中田俊哉	現	●	21	1,585		1,896		-311					
			繁澤多美	新	●	14	2,131		1,925		206					
			大垣市計				3,716	6.78	3,821	6.19	-105	0.59	4,358	-642	6,112	-2,396
4	神戸町	10	鈴木愛子	現	●	4	926	10.71	911	9.60	15	1.11	738	188	1,009	-83
5	養老町	13	水谷久美子	現	●	6	982	7.64	1,175	8.77	-193	-1.13	734	248	999	-17
6	関ヶ原町	8	田中由紀子	現	●	1	623	14.05	619	13.18	4	0.87	380	243	524	99
7	関市	23	小森敬直	現	●	21	1,141		1,228		-87					
			猿渡直樹	現	●	22	1,123		1,458		-335					
			関市計				2,264	5.91	2,686	6.55	-422	-0.64	2,929	-665	3,910	-1,646
8	美濃市	13	服部光由	新	●	9	726	6.94					863	-137	1,115	-389
9	坂祝町	10	松田賢治	現	●		無投票						236		360	
10	中津川市	21	木下律子	現	●	7	2,015		1,654		361					
			鷹見信義	元	●	14	1,728		1,185		543					
			中津川市計				3,743	9.23	2,839	6.25	904	2.98	4,095	-352	4,926	-1,183
11	多治見市	21	三輪寿子	現	●	18	1,489	3.33	2,080	4.32	-591	-0.99	3,411	-1,922	5,102	-3,613
12	土岐市	18	小関篤司	現	●	10	1,386	5.20	1,961	6.80	-575	-1.60	2,130	-744	2,807	-1,421
13	高山市	24	牛丸尋幸	現	●	10	1,853		2,580		-727					
			上嶋希代子	現	●	12	1,782		1,763		19					
			高山市計				3,635	8.37	4,343	9.15	-708	-0.78	3,095	540	4,242	-607

# 2019年4月21日市・町議会議員(補欠)選挙 日本共産党候補の結果

14	瑞穂市(補欠)	1	関谷守彦	新	●	2	4,905	29.73					1,298	3,607	1,734	3,171
15	揖斐川町(補欠)	3	小倉昌弘	元	●		無投票						668		764	